

聖和学園短期大学 保育学科 設置に係る設置計画履行状況報告書

平成29年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

<保育学科>

(1) 設置者

学校法人 聖和学園

(2) 大学名

聖和学園短期大学

(3) 大学の位置

〒981-3213

宮城県仙台市泉区南中山五丁目5番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スズキ シゲオ) 鈴木 繁雄 (平成13年6月)		
学長	(ナルミ ワタル) 鳴海 渉 (平成25年4月)		
学部長			
学科長	(マツムラ マリコ) 松村 万里子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え直し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保育学科 短期大学士 (保育学)	教育学・保育学関係	2年	90人	— 年次	180人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 () []	90人 () []			1.18 倍	
志願者数	255 () []	— () []	219 () []	— () []		
受験者数	253 () []	— () []	219 () []	— () []		
合格者数	108 () []	— () []	112 () []	— () []		
B 入学者数	107 () []	— () []	107 () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	1.18		1.18			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	107 [-] (-)	- [-] (-)	108 [-] (1)	- [-] (-)	
2年次	/		103 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		
4年次	/		/		
計	107 [] ()		211 [] (1)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	107 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	就職(3人)	2.80 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	107 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	214 人	3 人					1.40 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	聖和総合教育	1通	2			5 4	5 3	1			共同 授業内容の充実を図るため、新規採用の教授1、准教授1、講師から准教授に昇格1を追加(29)	
	人間と仏教	1後	2							兼2	共同	
	文学入門	1前		2						兼1		
	心理学入門	1前		2						兼1		
	ボランティア論	1後		2						兼1		
	暮らしの中の憲法	2後		2						兼1		
	経済のしくみ	2前		2						兼1		
	ライフデザイン総合	1後		2						兼1		
	暮らしと科学	2後		2						兼1		
	環境と自然	2前		2						兼1		
	英語コミュニケーション	1前		2						兼1		
	フランス語入門	1前		2						兼1		
	韓国語入門	1前		2						兼2	共同	
	体育理論	2前		1						兼1		
	健康スポーツ	2後		1						兼1		
	情報処理演習Ⅰ	1前		1						兼3 兼2	共同 開講数増加のため教員を追加(28)	
	情報処理演習Ⅱ	1後		1						兼3 兼2	共同 開講数増加のため教員を追加(28)	
海外文化研修	1・2後		2		1	1			兼1 兼2	共同 時間割編成上の都合により兼任教員1を減(29)		
専門教育科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	1後 2前	2			1					授業内容充実のため配当年次変更(29)
		教育原理	1前 2前	2							兼2 兼1	オムニバス 文部科学省教職課程認定審査における指摘事項に対応し、配当年次及び教員を変更、追加(28)
		児童家庭福祉	1後	2							兼1	
		社会福祉	2通 2前	2			1	1				時間割編成上の都合により開講期変更。新規採用専任教員担当に変更(29)
		相談援助	2前 2後	1			1				兼1	時間割編成上の都合により開講期変更、専任教員担当に変更(29)
		社会的養護	1前	2							兼1	
		保育者論	1前	2			1	1	1			共同 講師から准教授に昇格1を変更(29)
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	1前	2				1				
		保育の心理学Ⅱ	2後	1				1				
		子どもの保健Ⅰ	1通	4			2					オムニバス
子どもの保健Ⅱ		2通	1			1	1	1			オムニバス 講師から准教授に昇格1を変更(29)	
子どもの食と栄養Ⅰ		1前 1後	2							兼1	兼任講師の都合により開講期を変更(28)	
子どもの食と栄養Ⅱ		2後		1						兼1		
家庭支援論	2後	2							兼2	オムニバス		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育の内容・方法に関する科目 専門教育科目	保育課程論	1後	2				2 +		+			兼1 オムニバス 講師から准教授に昇格1 を変更(29) 文部科学省教職課程認定 審査における指摘事項に 対応し教員を追加(28)	
	保育内容総論	1後	1			1							
	健康(領域「健康」指導法)	1前	1				1						
	人間関係(領域「人間関係」指導法)	1後	1			1							
	環境(領域「環境」指導法)	1通	1			1	1					隔週 共同 文部科学省 教職課程認定審査におけ る指摘事項に対応し、教 員を追加(28)	
	言葉(領域「言葉」指導法)	1前	1				1						
	音楽表現(領域「表現A」指導法)	1通	1			1						隔週	
	造形表現(領域「表現B」指導法)	1後	1			1							
	乳児保育	1前	2				1		+			講師から准教授に昇格1 を変更(29)	
	障害児保育	1通	2									兼1	
	社会的養護内容	2後 1後	1				1					兼+	授業内容充実のため配当 年次変更 新規採用専任教員担当に 変更(29)
	保育相談支援	2後	1			1							
	保育内容A	2後		2			3 +		+				共同 授業内容の充実を図るた め、新規採用の准教授 1、講師から准教授に昇 格1を追加(29)
	保育内容B	2後		2		3 2	1						共同 授業内容の充実を図るた め、新規採用の教授1を 追加(29)
	保育内容C	2後		2		2	1						共同
	保育指導法	1前	2			1	1						共同 文部科学省教職課程認定 審査における指摘事項に 対応し、教員を追加 (28)
	児童文化	1後		1									兼1
	保育の表現技術	音楽	1通	2			1	1					オムニバス
		ピアノⅠ	1通	1			1	1					兼13 共同
		ピアノⅡ	2通		1		1	1					兼13 共同
声楽Ⅰ		1通		1								兼1	
声楽Ⅱ		2通		1								兼2 共同	
器楽アンサンブルⅠ		2前		1								兼1	
器楽アンサンブルⅡ		2後		1								兼1	
図画工作Ⅰ		1前	1									兼1	
図画工作Ⅱ		1前	1			1							
図画工作Ⅲ		2後		1		1						兼+	授業内容の充実を図るた め、新規採用の教授に担 当変更(29)
幼児体育Ⅰ		1前	1				1						
幼児体育Ⅱ		1後	1				1						
幼児体育Ⅲ		2後		1								兼1	
保育実習	保育実習Ⅰ	1前~2後	4			5 4	5 3		+			共同 授業内容の充実を図る ため、新規採用の教授 1、准教授1、講師から 准教授に昇格1を追加 (29)	
	保育実習指導Ⅰ	1前~2後	2			5 4	5 3		+				
	保育実習Ⅱ	2通		2		5 4	5 3		+				
	保育実習指導Ⅱ	2通		1		5 4	5 3		+				
	保育実習Ⅲ	2後		2		5 4	5 3		+				
	保育実習指導Ⅲ	2後		1		5 4	5 3		+				

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
演習 総合 特別	保育・教職実践演習(幼稚園)	2後	2			4	4 3	1			共同 講師から准教授に昇格 1を変更(29)
	総合演習	1後~2後	1			4	4 3	1			
	保育学講座	1後~2後	1			4	4 3	1			
教科 ・ 教 職 科 目	国 語	2後		2							兼1
	生 活	2後		2		1					
	教育方法	1後		1							兼1
	教育相談(幼児理解を含む)	1後		2							兼1
	教育実習 I	1前~2後		1		4 3	4 3	1			共同 講師から准教授に昇格 1を変更(29) 教授数の訂正(28)
	教育実習 II	2前		4		4 3	4 3	1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 38	科目 0	科目 77	科目 39 [0]	科目 38 [0]	科目 0 [0]	科目 77 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	6,312㎡	0㎡	0㎡	6,312㎡			
	運動場用地	10,087㎡	0㎡	0㎡	10,087㎡			
	小 計	16,399㎡	0㎡	0㎡	16,399㎡			
	そ の 他	16,658㎡	0㎡	0㎡	16,658㎡			
	合 計	33,057㎡	0㎡	0㎡	33,057㎡			
(2) 校 舎	専 用	8,102㎡	0㎡	0㎡	8,102㎡			
	(8,102㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(8,102㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	14 室	37 室	5 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成29年4月 専任教授1名及び専任准教授1名を新規採用のため (29)		
	保育学科			11 9 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	保育学科	5,165 [63] (4,958 [63])	20 [0] (19 [0])	0 [0] (0 [0])	262 (251) (-243)	1,580 (1,580) (-1,572)	0 (0)	
計	5,165 [63] (4,958 [63])	20 [0] (19 [0])	0 [0] (0 [0])	262 (251) (-243)	1,580 (1,580) (-1,572)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	427 ㎡		72		63,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,439 ㎡		テニスコート 2面		25m プール (6コース)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	150千円	150千円	図書購入費	1,334千円	546千円 1,134千円	1,350千円 1,130千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	1,455千円	731千円 900千円	6,260千円 3,200千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,152千円	764千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金収入、資産運用収入他						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については、「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記入不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	聖和学園短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
《AC対象学部等》 キャリア開発総合学科	2	160	-	320	短期大学士 (総合キャリア学)	1.06	平成28年度	宮城県仙台市泉区 南中山五丁目5番2号
保育学科	2	90	-	180	短期大学士 (保育学)	1.18	平成28年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保育学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (副学長)	木村 昭代 (65)	平成28年4月	保育者論 子どもの保健Ⅰ ※ 子どもの保健Ⅱ ※						
専	教授 (学科長)	松村 万里子 (65)	平成28年4月	聖和総合教育 音楽表現(領域 「表現A」指導法) 保育内容B 音楽 ※ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ						
専	教授	小野 真喜子 (61)	平成28年4月	聖和総合教育 保育内容総論 環境(領域「環境」 指導法) 保育指導法 保育内容C 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ						
専	教授	加藤 和子 (60)	平成28年4月	聖和総合教育 社会福祉 子どもの保健Ⅰ ※ 人間関係(領域 「人間関係」指導法) 保育相談支援 保育内容B 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 生活 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ					聖和総合教育 社会福祉 相談援助 子どもの保健Ⅰ ※ 人間関係(領域 「人間関係」指導法) 保育相談支援 保育内容B 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 生活 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	新規採用の上村裕樹 准教授に担当科目変更(29) 兼任君島智子講師から 担当科目変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	伊藤 純子 (65)	平成28年4月	聖和総合教育 海外文化研修 造形表現(領域 「表現B」指導法) 保育内容C 図画工作Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ						
					専	教授	佐々木 貴弘 (48)	平成29年4月	聖和総合教育 保育内容B 図画工作Ⅲ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	改善意見に対応し新規採用。専任教員が共同で担当する科目と図画工作Ⅲを担当する(29)
専	准教授	石森 真由子 (40)	平成28年4月	聖和総合教育 健康(領域「健康」 指導法) 保育内容C 幼児体育Ⅰ 幼児体育Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ						
専	准教授	佐藤 万利子 (55)	平成28年4月	聖和総合教育 海外文化研修 保育内容B 音楽 ※ ピアノⅠ ピアノⅡ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	飯島 典子 (43)	平成28年4月	聖和総合教育 保育原理 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 言葉(領域「言葉」 指導法) 保育内容A 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ					聖和総合教育 保育原理 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 言葉(領域「言葉」指導 法) 保育内容A 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 保育課程論※ 環境(領域「環境」指 導法) 保育指導法	新規採用の上村裕樹准 教授に担当科目変更 (29)	
専	講師	中島 恵 (50)	平成28年4月	聖和総合教育 子どもの保健Ⅱ ※ 保育者論 保育課程論 ※ 乳児保育 保育内容A 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 総合演習 保育学講座 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ		准教授 講師					昇格(29)
					専	准教授	上村 裕樹 (38)	平成29年4月	聖和総合教育 社会福祉 保育原理 社会的養護内容 保育内容A 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	改善意見に対応し新規 採用。専任教員が 共同で担当する科目 と社会福祉、保育原 理、社会的養護内容 を担当する(29)	
兼任	教授 (名誉 学長)	鎌田 文恵 (78)	平成28年4月	人間と仏教		教授 (学園 長) (名誉 学長)					平成28年4月 学園長就任のため職 名を変更(28)
兼任	教授	関根 俊二 (52)	平成28年4月	文学入門 国語							
兼任	教授	梅津 裕子 (47)	平成28年4月	子どもの食と栄養Ⅱ							
兼任	教授	川辺 博 (48)	平成28年4月	英語コミュニケーション							
兼任	教授	丸山 穰 (48)	平成28年4月	暮らしと科学							
兼任	准教授	金澤 千晶 (37)	平成28年4月	海外文化研修							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	阿部 和宏 (42)	平成28年4月	海外文化研修	兼任	講師	阿部 和宏 (42)	平成28年4月	海外文化研修	平成29年3月 時間割編成上の都合 により兼任金澤准教授 が担当することになっ たため (29)
兼任	講師	鎌田 清寛 (40)	平成28年4月	人間と仏教					人間と仏教 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	平成28年4月 開講数増加によ り科目を追加 (28)
兼任	講師	片岡 彰 (67)	平成28年4月	心理学入門 ライフデザイン総合						
兼任	講師	緑川 浩子 (55)	平成28年4月	ボランティア論						
兼任	講師	米谷 光正 (63)	平成28年4月	暮らしの中の憲法						
兼任	講師	衛藤 総一 (48)	平成28年4月	経済のしくみ						
兼任	講師	佐場野 裕 (69)	平成28年4月	環境と自然						
兼任	講師	モラン エマニユ エル (37)	平成28年4月	フランス語入門	兼任	講師	ペラン アレク サンドラ (29)	平成28年4月	フランス語入門	平成28年3月非常勤 講師モラン エマ ニユエルの辞任のた め平成28年度より担 当者を変更 (28)
兼任	講師	文 慶喆 (56)	平成28年4月	韓国語入門						
兼任	講師	李 良林 (53)	平成28年4月	韓国語入門						
兼任	講師	金野 麻衣 (38)	平成28年4月	体育理論 健康スポーツ						
兼任	講師	阿部 よし江 (59)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	杉本 くみ子 (55)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	佐藤 誠子 (33)	平成28年4月	教育原理 教育相談(幼児理解を 含む)					教育原理 教育相談(幼児理解を 含む)	平成28年4月 文部科学省教職課程 認定審査における指 摘事項に対応し、科 目を削除 (28)
兼任	講師	菅田 賢治 (58)	平成28年4月	児童家庭福祉 社会的養護						
兼任	講師	君島 智子 (38)	平成28年4月	相談援助	兼任	講師	君島 智子 (39)	平成28年4月	相談援助	平成29年3月 君島智子講師辞任 専任加藤和子教授に 担当科目変更のため (29)
兼任	講師	岩田 教子 (38)	平成28年4月	子どもの食と栄養Ⅰ						
兼任	講師	佐藤 由美子 (59)	平成28年4月	家庭支援論 ※						
兼任	講師	小山 里織 (43)	平成28年4月	家庭支援論 ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮本 美和子 (49)	平成28年4月	保育課程論 ※						
兼任	講師	相馬 潤子 (66)	平成28年4月	障害児保育						
兼任	講師	佐藤 光市 (66)	平成28年4月	社会的養護内容	兼任	講師	佐藤 光市 (67)	平成28年4月	社会的養護内容	平成29年3月 佐藤光市講師辞任 新規採用の専任教員 上村裕樹准教授に担 当科目変更のため (29)
兼任	講師	横田 重俊 (67)	平成28年4月	児童文化						
兼任	講師	石郷岡 安希子 (41)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	菊地 真知子 (65)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	木島 恵理子 (40)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	佐久間 葉子 (50)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II 声楽 II						
兼任	講師	仙石 桂 (42)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	当麻 悦子 (55)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	田中 織江 (39)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	田中 美沙 (39)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II	兼任	講師	今野 清子 (59)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II	平成28年3月非常 勤講師田中の辞 任のため、平成 28年度より担当 教員を変更 (28)
兼任	講師	宮城 純一 (63)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	米山 博子 (63)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	遠藤 明子 (35)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	石田 仁美 (39)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	寺澤 絢子 (37)	平成28年4月	ピアノ I ピアノ II						
兼任	講師	松原 優子 (57)	平成28年4月	声楽 I 声楽 II						
兼任	講師	星 律子 (58)	平成28年4月	器楽アンサンブル I						
兼任	講師	木島 由美子 (50)	平成28年4月	器楽アンサンブル II						
兼任	講師	新妻 悦子 (64)	平成28年4月	図画工作 I 図画工作 III	兼任	講師	新妻 悦子 (65)	平成28年4月	図画工作 I 図画工作 III	新規採用の佐々木貴 弘教授に担当変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	柴田 卓 (37)	平成28年4月	幼児体育Ⅱ					幼児体育Ⅲ 幼児体育Ⅱ	平成28年4月 科目名に誤りがあつたため訂正(28)
兼任	講師	佐藤 哲也 (62)	平成28年4月	教育方法					教育方法 教育原理※	平成28年4月 文部科学省教職課程 認定審査における指 摘事項に対応し、科 目を追加(28)
					兼任	講師	井本 佳宏 (39)	平成28年4月	教育原理※	平成28年4月 文部科学省教職課程 認定審査における指 摘事項に対応し、教 員を追加(28)

(注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお, 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は, 「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由, 変更年度()書き等のみを記入してください。
 なお, 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は, 「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由, 変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	3	1	0	9	6	5	0	0	11	6	5	0	0	11
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)						[1]	[2]	[Δ 1]	[0]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

7 その他全般的事項

<保育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成18年にFD委員会規程を定め、FD委員会を設置している。別添「聖和学園短期大学FD委員会規程」参照</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 平成28年度は、委員会を5回開催した。構成メンバーは教務部・学生部の部長・副部長、キャリア開発総合学科・保育学科の学科長、教務部教務企画・運営係、学生部生活相談係の教員からなり、副学長がオブザーバーとして参加している。毎回、原則全員参加である。</p> <p>c 委員会の審議事項等 平成28年度の審議事項 1)平成28年度活動計画について 2)「平成27年度授業改善のために」作成について 3)「授業改善のためのアンケート」について 4)公開授業について 5)FD研修会について 6)「SEIWA TEACHING AWARD」(教員表彰)について 7)平成28年度活動総括</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 平成28年度実施内容 1)FD研修会 2)教員相互の参観による公開授業 3)授業改善のための学生アンケートの実施 4)「授業改善のために 授業に関する教員の自己点検・評価」の作成 5)「SEIWA TEACHING AWARD」(教員表彰)</p> <p>b 実施方法 1)FD研修会・・・学内外の講師による研修会 FD・SD合同で実施 2)教員相互の参観による公開授業・・・一定期間内(1週間)のすべての授業を対象に実施 3)授業改善のための学生アンケートの実施・・・アンケート内容を検討し、前・後期の授業終了時に実施 4)「授業改善のために 授業に関する教員の自己点検・評価」の作成・・・教員個々の授業に対する自己点検・評価の結果を公表</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

上記内容について原則全教員参加で実施する。SD合同で行う場合も同様である。

1) FD研修会

- ① 「聖和短大のアクティブラーニングの取り組みについて」11月8日（火）
各学科の取り組みを報告。アクティブラーニングの各種実際について理解を深めた。
- ② FD/SD研修会「COC+事業の取り組み、地域教育科目の設計、地域教育科目の運用 等」2月7日（火）
課題解決型授業の取り組み方について、外部講師から事例を通して学んだ。
- ③ 「COC+推進コーディネータ養成研修会」2月28日（火）
課題解決型授業について外部講師を招聘し、ワークショップを取り入れた研修会を実施した。
- ④ 高大連携合同研修会「グローバルリーゼーションとナショナルカリキュラムー小学校から大学までアクティブラーニング」3月6日（月）
聖和学園高校との合同企画で、アクティブラーニングについて外部講師による講演会を実施した。

2) 公開授業

11月14日（月）～19日（土）の6日間、開講しているすべての授業を対象に実施した。参観後は各自アンケート用紙に回答し、当該授業担当教員及び全教員が授業改善につなげられるように感想や改善点等を公開している。

3) 「SEIWA TEACHING AWARD」（教員表彰）

各学科の専任・非常勤教員ごとに講義、実習・演習部門それぞれについて、選考委員会の審議を経て計8名を表彰した。選考委員会は学生の授業アンケート結果を踏まえ選考する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケートの結果を踏まえ、各教員は自己点検・評価し次年度の授業に反映させている。自己点検・評価の結果をまとめて「授業改善のために 授業に関する教員の自己点検・評価」の冊子を作成する。

授業評価の高い教員は「SEIWA TEACHING AWARD」（教員表彰）の実施要領に沿って年度末に学長が表彰する。

公開授業に際しては、見学後にアンケート用紙に記入し授業担当教員に配布するとともに、全教員が授業改善に役立てられるよう、改善点等の共有化を図っている。

FD研修会では、「アクティブラーニング」など、今日的課題について研修会を実施し教職員から高い評価を得ている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学のすべての授業科目を対象とし、前・後期の授業終了時に学生による授業評価「授業改善のためのアンケート」を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生によるアンケート結果は、「自己点検・評価報告書」に記載して広く公表している。また、教員の担当部分のアンケート結果は各教員に配布し、その結果を踏まえた「授業改善のために 授業に関する教員の自己点検・評価」を作成し、教職員に配布している。この冊子及びアンケート結果は図書館に備え付け、学生が自由に閲覧できるようにし、学生の履修の一助にしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は仏教の教えに基づく教育を建学の精神として、自他を大切にし、慈しむ「慈悲」の心、支え合い協力し合う「和」の心を身につけ「智慧」を学ぶ人間教育を通して、地域社会に貢献する有能な人材を育てることを目的としている。

保育学科は、建学の精神に基づく一人一人を大切に作る少人数教育や、段階を踏んだ実習を核とする丁寧な教育を実践し、幼稚園教諭、保育士の養成を継続してきたことにより、社会的評価が高い。これまでの募集状況を見ると、入学志願者は、宮城県はもとより東北6県から多くの志願者があり、過去5年の入学志願者数は入学定員の2倍、3倍にのぼっている。新設学科においても定員90名に対して、開設年度入学生募集のための平成28年度入試においては、志願者数253名、入学者数107名で定員充足率1.18であった。平成29年度入試では、志願者数219名、入学者数107名で定員充足率1.18であり、本学科に対する社会的ニーズが高いことが示された結果であった。

今後も引き続き、幅広い教養とより一層の高い専門性そして豊かな人間性を身につけた保育者養成を目指し、設置計画を確実に実施し、建学の精神に基づく教育目的・目標の実現に努めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年9月30日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書は全教職員、理事、監事、関係機関、大学・短大等に配付しているほか、希望があった学生に配付する。
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に評価機関（短期大学基準協会）の評価を受け、適格と認定された。次回は法に定められた7年後までの期間内に受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(28 年 6 月 30 日)